



**校区連携夏季全体会第二部分科会**

**☑キャリア教育分科会**

記録
<p>①研修/ゲストティーチャー いろんな職業の方を呼ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット</li> </ul> <p>Skymenu、Teams、ホワイトボード</p> <p>タイピングはほとんどの子ができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題 小学校でどんな取り組みをしているのか聞きたい</li> <li>・中二、中三、児童の交流</li> </ul>
まとめ
<p>◎教職員向けの研修/児童向けゲストティーチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガンバの選手に来てもらった（児童向け）</li> <li>・SDGsについて（職員向け）</li> <li>・いろんな職業の方を呼ぶ（児童むけ）</li> </ul> <p>◎タブレットの使用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Skymenu、Teams、ホワイトボードを活用している。</li> <li>・タイピングはできる児童が多いが、個人差がある</li> <li>・タイピング大会などを実施</li> </ul> <p>◎小中連携の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中2中3の生徒の交流もしていきたい</li> <li>・小学校でどのような取り組みをしているのかを知りたい</li> <li>・タブレットの持ち帰り頻度などを合わせていけるとよいのでは？</li> </ul>

**☑ICT分科会**

記録
<p>&lt;各班での話し合い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に「ここまでやってほしい」という到達目標が中学校からもらえると計画等が作りやすい。（タイピング/Word など?）</li> <li>・ICTの使用に差が出やすい。足並みをそろえることの難しさもあるので、できる人が周囲に教える立場を作れたら良いと思う。</li> <li>・授業中の使用のむつかしさ。（教科の特性など）</li> <li>・学年が上がれば使用するアプリ、やる内容に差は出ないのでは?という考えがあった。（skymenuは小学校高学年になるとあまり使わない）</li> <li>・良い活用方法を教師間で共有できるとよい。</li> </ul>
まとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の中で中学校進学に向けた到達目標があれば、より充実したICT教育ができると思う</li> <li>・中学校でも skymenu/powerpoint など教科によって使用料に差はあるので、「どこまで」を決めるむつかしさはある。</li> <li>・小学校中学校で情報共有をして、より良いICT教育ICT活用を推進していきたい。</li> </ul>

**☑授業力向上**

記録			
<p><b>東豊台小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年からの算数を研究</li> <li>・説明力を上げる</li> </ul> <p>①めあて→授業</p> <p>②めあては何か</p> <p>池田付属の先生にみてもらい、現在研究中</p>	<p><b>熊野田小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度～説明/書く力を伸ばす</li> <li>・2022年度～作品世界に浸ることで達成図る。</li> <li>・教材研究</li> </ul> <p>全教員で事前に教材研究→各自比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の質向上</li> <li>・研究通信発行</li> </ul>	<p><b>東豊中小学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語文に重点をおく</li> <li>・各学年で扱うべき学習用語をまとめる</li> <li>・主体的に取り組む姿勢を言っている</li> </ul> <p>→小、中、高学年で個別目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「出会いの感想/終わりの感想」で、子どもの変化をアウトプットさせる。読み取りの能力を育てる。</li> </ul>	<p><b>十五中学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力→情報リテラシーに改名</li> <li>・十五中スタンダードと道具としてのICT</li> <li>・講師を招いて情報活用能力の研修</li> <li>・目標→ICT機器、アプリの活用方法の模索</li> <li>・全国学テがICT機器を用いる。→タイピングスキル要強化</li> </ul>

## ☑道徳分科会

記録
<p>各校の取り組み (十五中)</p> <p>昨年度までは教科書を元に授業を行っていたが、今年度から教科書以外の教材にも広げていくことになった。以前は担任が授業を行っていたが、ここ数年は担任が行うのではなく、学年の全ての教員が関わり、持ち回りで授業を行っている。校内組織として学習指導部の道徳推進担当があり、その教員が中心となって授業の組み立てをしている。</p> <p>(東豊台)</p> <p>道徳が教科化された2018年度に道徳教育推進部を立ち上げ、「考え、議論する道徳」について研究部を中心として学びを深めてきた。2019年度には3学年で公開授業を依行い、外部講師を招いて研修を行った。2020年度以降は研究部はなくなったが、これまでの取り組みを参考にしながら指導を進めている。</p> <p>(東豊中)</p> <p>2019年度までは道徳研究推進部があったが、現在は存在していない。以前研究していた取り組みを参考にしながら指導をすすめている。2022年度に5年生で公開授業を行った。その研究成果から、道徳の授業では表面的なところできれいごとだけを学ぶのではなく、一歩踏み込んで子どもをゆさぶり考えていくことが重要であるとわかった。</p> <p>(熊野田)</p> <p>教科化されるときに道徳研究推進部を立ち上げ、筑波大の先生に師範授業をしていただくなど、校内の研究体制は活発であった。現在推進部はなくなったが、研究を進めていたときの成果として、教師の価値観の押し付けにならない授業、5mm方眼ノートを利用した考えを自由にまとめられる授業が行われている。</p>
まとめ
<p>道徳の研究は教科化された2020年度前後に各学校で推進部などを立ち上げ盛んに行われていた。現在は教科化されてから年月が経ち、教員らも日々の道徳授業を進められるようになった。それに伴い、推進部での学校としての研究はなくなり、他の教科と同じ扱いになっている。道徳の学習は教科書を表面的になぞるだけでなく、一歩踏み込んで思考を揺さぶり、深く考えることができるようになっていく必要がある。そのためには教材文の精選や発問の工夫などが必要であり、推進部での研究がなくても1人1人が日々教材研究を進めていくことが大切である。</p>

## ☑生活指導分科会

記録																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>東豊中小学校</th> <th>熊野田小学校</th> <th>東豊台小学校</th> <th>十五中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①月初めに目標の周知</td> <td>不審者対応訓練</td> <td>委員会の子どもたちが右側通行呼びかけ</td> <td>小中連携のむずかしさ</td> </tr> <tr> <td>②音楽集会</td> <td>今年警察が来て行った</td> <td>月一回全校集会</td> <td>お互いの文化の違いを知ることが必要</td> </tr> <tr> <td>③スクールサポート委員会</td> <td>風水害訓練</td> <td>細かいルールの話し合い</td> <td>生徒指導と生徒会の取り組みを行う</td> </tr> <tr> <td>④子どもの様子報告(週二回)</td> <td>連絡は Teams を使用</td> <td>教育虐待が多数/親子の向き合い方</td> <td>校則の見直しを進める</td> </tr> <tr> <td>(研修)</td> <td>特別活動</td> <td>担任が毎週報告。児童の記録を取っておくようになった。</td> <td>前年の引継ぎやクラス分けはどのようにしているのか</td> </tr> <tr> <td>①不審者対応訓練</td> <td>→子どもたちが自信を持てるようにする</td> <td>緊急時の下校方法は?地区児は必要か?</td> <td>小学校のルールは?</td> </tr> <tr> <td>②体罰防止/いじめ、不登校、遅刻の児童の対応の取り組みは?</td> <td>教室を飛び出してしまう生徒の対応は?</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	東豊中小学校	熊野田小学校	東豊台小学校	十五中学校	①月初めに目標の周知	不審者対応訓練	委員会の子どもたちが右側通行呼びかけ	小中連携のむずかしさ	②音楽集会	今年警察が来て行った	月一回全校集会	お互いの文化の違いを知ることが必要	③スクールサポート委員会	風水害訓練	細かいルールの話し合い	生徒指導と生徒会の取り組みを行う	④子どもの様子報告(週二回)	連絡は Teams を使用	教育虐待が多数/親子の向き合い方	校則の見直しを進める	(研修)	特別活動	担任が毎週報告。児童の記録を取っておくようになった。	前年の引継ぎやクラス分けはどのようにしているのか	①不審者対応訓練	→子どもたちが自信を持てるようにする	緊急時の下校方法は?地区児は必要か?	小学校のルールは?	②体罰防止/いじめ、不登校、遅刻の児童の対応の取り組みは?	教室を飛び出してしまう生徒の対応は?		
東豊中小学校	熊野田小学校	東豊台小学校	十五中学校																													
①月初めに目標の周知	不審者対応訓練	委員会の子どもたちが右側通行呼びかけ	小中連携のむずかしさ																													
②音楽集会	今年警察が来て行った	月一回全校集会	お互いの文化の違いを知ることが必要																													
③スクールサポート委員会	風水害訓練	細かいルールの話し合い	生徒指導と生徒会の取り組みを行う																													
④子どもの様子報告(週二回)	連絡は Teams を使用	教育虐待が多数/親子の向き合い方	校則の見直しを進める																													
(研修)	特別活動	担任が毎週報告。児童の記録を取っておくようになった。	前年の引継ぎやクラス分けはどのようにしているのか																													
①不審者対応訓練	→子どもたちが自信を持てるようにする	緊急時の下校方法は?地区児は必要か?	小学校のルールは?																													
②体罰防止/いじめ、不登校、遅刻の児童の対応の取り組みは?	教室を飛び出してしまう生徒の対応は?																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻指導について 中学校/遅刻届を職員室→担任と授業中の教科担任に提出 後ろの黒板に朝、副担が記入（登校していない生徒、遅刻時間の記入） 通知表への影響声掛け</li> <li>★生活面が原因等（食事、睡眠、運動）→保健の指導にもつながる</li> <li>クラス分けについて 担任が持ち上がることもある。総入れ替えもある</li> <li>引継ぎの大変さ <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校対応 小学校/別紙の先生がいる。通級教室数名～30人程度 中学校/別室対応は学校全体で取り組んでいる。教師割り当てあり。しんどくなったら戻って来れる。パテーションあり。折り紙、トランプ、カードゲーム、畑仕事などあり。コミュニケーションをとる。学習保障はできないということなどを保護者に説明したから入室</li> </ul> </li> </ul>																																
まとめ																																
<p>不登校対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校に来るのがしんどい児童は通級教室や別室で対応することが多い</li> <li>通級指導教室ではカルテを作り、子どものじょうほうを集めるようにしている</li> <li>欠席児童に連絡をする役割の先生、家庭訪問をする先生など連絡をうまく取れるようにシステム化を進めている</li> <li>小中の不登校の連携が取れていない</li> <li>小学校でどれだけ不登校か分からないまま上がってきているので情報の共有が必要では?</li> </ul>																																